
君には、戻れない

洋明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君には、戻れない

【NZコード】

N9761C

【作者名】

洋明

【あらすじ】

急に大切な人を失った女の子の切ない気持ち。

一年間で大切な日って、何回あるんだろう?

私にとって、今は一回だけだ。

一樹が空に上がつて、いつから三回目の冬が来た。

今、じゅうやって一樹のお墓の前で手を合わせていることが、楽しかった日を思い出させてくれる一番のシチュエーションだよ。

あなたが放課後に声を掛けてくれたから、一樹つていう存在をかけがえのないものだつて気付かせてくれたよね。

ホントに感謝してるよ。

あなたから告白してきたのに私の方が、好きになつた感じになつたよね。

みんなは受験のこと、いっぱいいっぱいになつていてる感じだったけど、あなたといれる今の時間の方が大切だつて思つてた。

あなたは頭が良いから、進学先は決つてたけどね。

私、あなたの奥さんになるから進学なんか関係ないつて思つてたよ。

一人で見に来た防波堤からの夜景。。。。

すゞいきれいな景色で、隣りに一樹がいたから余計に感動しちゃつて泣いてしまったよね。

あの時は、困らせてしまって『メン』ね。

あなたと一緒にいた半年間は、おばあさんになるまで大切な思い出にしてるだらうな。

でも、あなたが・・一樹があの交差点で・・・ぬくもりをなくしたことは忘れないよ。

でも、忘れられないし、忘れちゃダメだと思つ。。。

笑つた顔すら、想像もできない、あなたの空っぽになつた体は私は一樹だつて理解できなくて、ただ泣くしかなかつたよ。

小さな白い箱に入ったあなたの骨を見たけど、それでも亡くなつたなんてわからなかつた。

わかりたくなかったよ。。。。

でも、頭では理解してたみたいだね。

あなたより、素敵な人はまだ現われないよ。

あなたの軌跡を見てた私には眩しいくらいの姿残して、急に暗くなつたから、もう明るくならないかもね。

しばらくは、一樹の背中を胸に抱くことにします。

(後書き)

超短編で、早い読み終わりでしょうが、作品の印象を残すために凝縮しました。

御評価など、御意見など、よろしくお願い致します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9761c/>

君には、戻れない

2010年12月14日21時51分発行